

MACF礼拝説教要旨
2024年2月18日

「偉大な大祭司イエスを味方につけて生きる」

ヘブライ人への手紙4章

14さて、わたしたちには、もろもろの天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスが与えられているのですから、わたしたちの公に言い表している信仰をしっかりと保とうではありませんか。

15この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。

16だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。

私たちは安息を得る保証としての救いを受け取っているという話を前回いたしました。今朝は、だからこそ与えられている大きな祝福をしっかりと味わいながら生きていこうというお話です。

1) 偉大な大祭司

イエス様についての紹介がなされていますが

偉大な大祭司

もろもろの天を通過されたお方

神の子

というものです。

もろもろの天を通過されたという表現は死に打ち勝ちよみがえり、天にのぼられ父なる神の右の座についているという、私たち生身の人間が経験できない死の世界から神の玉座のある天への「大移動」を表しています。

そして、この死を滅ぼし、罪の赦しを成し遂げた神の御子、大祭司イエスが私たちに与えられているというのです。

私たちのためにご自身を「提供」してくださっています。

神の御子ですから、私たちが父なる神様へと導いてくださるでしょう。

大祭司ですから、私たちの罪のための執りなしをし、罪の赦しを与えてくださるでしょう。

2) 大祭司イエスを味方につけて生きる

私たちはイエス様を通して神様に対する信仰が与えられました。その信仰を失わないように保つことが求められています。

公に言い表している信仰とありますが、これは洗礼を受け、イエス様への信仰を公表しているわけだから、それをしっかりと保つように励ましているのです。

そのために、イエス様をもう一度見直して、頼りにすることが求められています。

というのもイエス様は大祭司ですが、

15この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。

私たちと同じ試練を通過し、私たちの苦勞を知っておられるので私たちの弱さを理解できるお方であり、同情してくださるお方だと教えています。

16だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。

私たちが失敗したり、挫折したり、不安になったりしたとき、自分を責めたり、絶望しないでイエス様の元に立ち返り、イエス様に助けを求めるようにと勧めているのです。イエス様はまさに、その時々私たちの必要に応じてくださいます。それは大きいことでも小さいことでも、ちょうど良い時に道を開いてくださいます。

3) 恵みの座

私たちには「恵みの座」が開かれているのです。

恵みとは「受け取る資格のないものに提供されている神の祝福、善意」と理解されています。

そういう祝福を受け取ることができる座が私たちに、わたしにもあなたにも開かれているのです。

祈りという形で神様に直接、直訴できることは大きな恵みです。

同様にイエス様に直接話を持っていけることは大きな恵みです。

問題は私たちがそれをどれだけ活用しているか、恵みの座が惜しげもなく開かれていることにどれだけ興味を持ち、どれだけ素晴らしいことなのかを理解しているか、そこが重大な問題点です。

苦難は現実であり、不安も現実です。病気も死も現実です。生活苦や人間関係のトラブルもあるでしょう。しかし、大祭司イエス様は、それらをすべて理解してくださいます。

イエス様は、あなたの死を死に、あなたのいのちをご自分のいのちに重ねてくださっているからです。

そして、恵みの座に大胆にやってきて助けを求めるようにと励ましておられます。

臆病にならず、過小評価せず、遠慮せず、自分の現状をイエス様に伝え、心の中に必要なもの現実の生活の中で必要と思われるものをイエス様に知っていただきましょう。

応えられ方はそれぞれ異なるでしょう。いろいろな形で神様は私たちに応答してくださるでしょう。

でも、とにかく私たちは心のなかにある思いをすべて知っていただき、神様からの応答を

心の中に感じ取る作業が大切です。

そして、きっと、その応答を感じ取れたら、それが現実化したとき、気づくことができるようになるのだと思います。

楽しみです。喜びが待っている感じがします。

MACF礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/XAi49ltuvng>

お知らせ

* 次回のOCCでの礼拝は3月3日です。

* 3月のバイブルワークショップ&メディテーションはお休みさせていただきます。

* 関根一夫牧師は22日からオーストラリア・アデレードに出かけます。

留学していた学校の100周年記念式典があり、日本人留学生第一号だったこともあって式典の中でスピーチをすることになっています。

旅行の無事をお祈りください。